## 哲學研究

第三十七卷 第四册

第四百二十六號

昭和二十九年十月二十日發行

新荒外國雜誌所載論文一覧

物質 始 推論の三つの型(アリストテレス): ٤ 精神 ヘーゲル「論理學」に於ける「否定」の研究―― 元 右 酒 山 徿 井 內 門 伲 得 重 雄 修 立



京都大學文學部內京都哲學會

京

京

委

員

三三松野西長田武高園島重日上井石池有

ことを目的とする 本會は廣義における哲學の研究とその普及を聞る

、右の目的のために次の事業を行う 毎月一四研究會を開

、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、 毎年公開講演會を開く 毎月一四「哲學研究」を發行する

食することもできる

、本會は會員組織とし、會員には登格の制限を設

した者に委囑する

委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦

ない、學校・岡書館・其他の團體は團體の名を以て入

、會員は會費として年一、〇二〇圓、又は牛年五 〇川を前納する

、本會は事務所を京都大學文學部內に 、倉員は食誌の配布を受け、食誌に強告する諸種 行事に出席することができる おく

本會規約の改正鐘更は委員會の決議による

宅村尾田谷 內田原 澤井 田 部 鐵 知 叉 啓 雅 裟 三太 達 太 郎一勉海夫治人郞範郎郎夫郎尚夫勉仁祜郎 物質と精神の架橋

位を段想する。 (未完) はないにいるものである。かくてことに生命力を科恩的に解釋せんとした結果として、かえつて唯心的とされる「無」を認めることになつたのである。これは物質の流される「無」を認めることになつたのである。これは物質の流される「無」を認めることになったのである。かくてことに生能性に一つの全體性を與えているものである。かくてことに生能性に一つの全體性を與えているものである。かくてことに生

(筆者 大阪大學理學部講師)

瀧浦靜雄氏「デカルトの自由論」正誤表

					四二四					四二三	77
三大	"	=	IJ	=	二八	六二	正八	n	五	近〇	प्र
N	IJ	Ħ	IJ	=	が	ħ	二 七	至宋	—  文	八	行
悪の追求	une pur négation	强制される	真理答認	美の追求	experire	判断も十分に	あり得る様である。	Alguié	l'indi-fférence	意味を持つでは	誤
悪の追求	une pure négation	強制されぬ	眞理の答認	-	experiri	判断を十分に	あり得る認である。	Alquié	l'indif-férence	意味を持つのでは	E

號目次

ハイデッガーの根本經驗………辻村

公一

前

郭泉の莊子解釋(完)・・・・・・・・・福永

光司

主として「無「無場」「済者」についてー

五九

會

告

、本會は會員組織とし會員には登格の制限を設けま 堂内京都哲學會係宛に規定の會致(年一、 せん、入倉希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文 01100

、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しま 「振蓉口座京都一九五五六番 京都哲學會」

又は半年五一○圓)をお排込下さい

すから直ちに御挪込下さい、一年分(又は半年分)

過不足は一年(又は半年)毎に精算します を以て前金切れとし、食費の變更其他の事情による **會費は原則として本誌十二册** ( 乂は六册) の送附済

、 會員の轉居入退會等(編集事務以外の一切)の

事務

は弘文堂內京都哲學會係へ御通知下さ

本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本

京

會宛にお迎り下さい

都 大市 學方 文 京 PI 部吉 内田

都

EJ:

をお送り下さい

昭和二十九年十月二十日發行昭和二十九年十月十五日印刷

京

都都

學哲

平學

大

文

右

三代

勉

裘

發 行 人

刷 人

京伊 東京都千代田神田殷河松四ノ四ハ 坂 浅 太 郎

印

衟 īþi H 中西

都市 田堂 西印 ili 前刷 の所

训

Ħſ

四合

FD

刷

所

京弘

文

發

行

會株 社式

東京都千代田神田殿河際四ノ四 弘

一、會員以外の聯讀者の御註文及び廣告に關する件は

註

文

規 定

「弘文堂」〈御申込下さい

、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八回 、本誌の御註文はすべて代金郵税共(一部、 ○○圓・郵稅八圓)前金にてお送り下さ 定假

## THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

## THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXVII October, 1954

No. 4

The three Figures of Syllogism in Aristotle (I)....Tokuryû Yamauchi

"Beginning": A Study on the Problem of "Negation"

in Hegel's Logic (I).......Osamu Sakai

How to mediate between Matter and Spirit (I)......Sigeo Yomosa

Published Monthly By

## THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai) Kyoto University Kyoto, Japan